

# 研究開発センター設立 50 周年記念行事「オープン・ラボ」を開催しました！

研究開発センター設立 50 周年を記念して、10 月 12 日(金)～13 日(土)に「オープン・ラボ 2018」を開催し、地域の方々や企業、大学関係者など、さまざまな方々に当センターの研究設備や成果、最新技術を披露しました。(来場者数 445 人)

開催にあたり菅原所長より「地域の皆さまへ 50 年にわたるご支援に対する感謝の気持ちをお伝えするとともに、研究内容を知って身近に感じてもらい、次世代層にも関心を持っていただく」と挨拶がありました。

「電気をつくる」「電気をおくる」「くらしによりそう」のテーマのもと、パネルと実機の展示、体験コーナーで研究内容を紹介。企業グループの展示コーナーでも、各社の最新研究が紹介されました。

また、「ラボツアー」として、研究員が 8 つの設備を案内する見学会では、水素製造システム、高圧電圧調整装置、ドローン飛行実演、トマト栽培などを紹介。214 人が参加しました。(約 1 時間、計 17 回実施)

子供たちを対象に、手回し発電機などを使う「エネルギー講座」や、空輸対応型低圧電源車「ToMoS」の電気を使用した IH キッキング体験は、ご家族で楽しむ姿がみられました。

来場者の方からは、「科学が苦手な人でも楽しめるイベントでよかった」「研究開発はクローズドな部分が多いので非常によい取り組みだと思う」などの感想をいただき、普段なかなか社外の方々にご覧頂く機会のない研究内容や設備を紹介できたよい機会となりました。

